

エア一式グリスポンプ

GP-60

取扱説明書



Tools Proshop
KIKAIYA

安全の為の注意と予防措置

注意：

機械を使う時は、機械ダメージと人員の事故の危険を減らす為、常に基本的な安全予防措置を行って下さい。

この取り扱い説明書の安全の為の注意や取り扱いの為の注意事項をよく読み十分理解した後にのみ使用する。

1. 使用する前に

作業場は常に綺麗にしておく。

作業場が散らかっていると怪我を招く恐れがある。

2. 使用する場所

濡れた場所や湿気がある場所で使わないで下さい。

雨が当たらないようにして下さい。

作業スペースは常に日光が当たる場所が望ましい。

火気や可燃性ガスがある場所での使用はお控え下さい。

3. 使用していない機械について

使わない場合は、錆びが生じないように乾いた場所にて器材の保管をして下さい。

子供の手の届かないようにご注意下さい。

4. 子供達は遠ざけて下さい。

子供達を作業スペースに近づけない様にして下さい。

器材や延長コード、機械を子供に扱わせないようにして下さい。

5. 仕事にあった正しい道具を使用して下さい。

6. 服装について

動いている機械に巻き込まれる恐れがある為、貴金属や服装に注意して下さい。

保護の為、作業をする時は滑らない靴と非電動性服の着用をお勧めします。

7. 安全・保護について

安全ゴーグルを常に着用して下さい。

ケミカルガスと蒸気の周りで作業をする時は専用のマスクを着用して下さい。

8. 使用場所について

適度な基盤を保ち、常に均衡を保てる様にして下さい。

運転中の機械の上に手を伸ばさないで下さい。

9. 器材の維持について

定期的にホースやコードを調べてみて下さい。

もし損傷があった場合は、損傷個所を交換するか専門の技術者により修理して下さい。

10. 急始動を防ぐ為に

使用しない時はエアホースを外す。

接続したままの状態だと思わぬ事故につながる場合があります。

11. 損傷個所をチェックする

器材を使用する前に、正常に動いているか注意深く確認する。

損傷個所は、専門の技術者によってきちんと修理／交換を行って下さい。

正常に動かないエアーコントローラーは使用しないで下さい。

1 2. 交換部品について

部品の交換は、使用していた物と同一の部品へ交換する。

使用した部品の保障は無効となります。

1 3. 薬やアルコールに酔った状態での使用は禁止

薬の飲用をしている間は正常な判断や反射が損なわれる恐れがあり、危険を招く恐れがあります。

1 4. メンテナンスについて

安全の為に定期的なメンテナンスチェックを専門の技術者によってされる事をお勧めします。

1 5. ペースメーカーについて

ペースメーカーを使用している方は製品を使用する前に専門医にご相談下さい。

電子磁場に近づくとペースメーカーに干渉を及ぼす危険があります。

更に、ペースメーカー使用の人は以下に注意して下さい。

＝コイルの近く・点火プラグケーブル・可動エンジン取扱業者＝注意が必要です。

エンジンは業者によって常に調整されなければならない。

追伸：このツールの性能は圧縮機能における変化に伴い変化する可能性がある。

安全にお使いいただく為に

1. 器材の近くでは喫煙禁止。
2. 換気のある場所で使用する。
3. エアーコンプレッサーのユニットに湿気が入っていない事を確認する。
4. リークした時はホースまたは器材のリーク個所を探し、すぐにエアーを止めリーク個所を修理する。
5. 推奨された操作の気圧を超えないで下さい。機械に損傷を与える原因となります。
6. 常に油の接触から皮膚と目を保護するよう注意して下さい。

仕 様

1. トロリー：20～30kg
2. グリスタンクの内径：270～300mm
3. 支えプレートの直径：310mm
4. グリスアウトレットプレッシャー：25～30Mpa（3,575～4,290PSI）
5. エアプレッシャー：0.4～0.6Mpa（71.5～85.8PSI）
6. ポンプ比率：50：1
7. ホースサイズ：1/4，長さ2.5メートル
8. グリース硬さ、#1～#2対応

取り扱い方法



1. トロリーに蓋を外したペール缶グリースを置く。
2. ペール缶にグリス押さえプレート（ゴム付き）をセットしますプレートは水平になるようにゆっくりと手で押し込んでください



3. ペール缶に上蓋を置き上蓋横のセットねじ3箇所を締め込んで固定します



4. ポンプ本体をゆっくりとグリス缶の底にあたるまで挿入します、セットネジを締めこんでポンプが上がらないように固定します

5. エアーカップラを接続してバルブを開きます、ポンプが動きだしてグリスをポンプとホースに充填します。エアー圧力調整つまみを回してゲージを見ながら適当な圧力に調整して下さい

(6以上に上げないで下さい)

グリースの圧送

1. ポンプにエアーを繋いで下さい。
2. 油が充填されたガンで適切な場所に狙いを定める。
3. 必要なグリスの量によって少しずつ出す事。
4. ポンプを取りだす時は、必ずエアーを外します。
5. 使い終わったら、ガンと作業場を綺麗にする。

※使用しない時は必ずエアーを止めてください

注意事項

1. 作業時以外は、エアーを決して繋がらないで下さい。
2. ガンを人・動物・電子機器等に向けしないで下さい。怪我をする恐れがあります。

メンテナンス

1. ポンプの潤滑の為、作業前にポンプのエアー接続口よりタービン油を1～2滴注入して下さい。
2. 水（湿気）がエアーコンプレッサーから機械に入らない様に注意して下さい。

対 処 法

1. グリースがガンから外に排出されない時
 - ・グリースが固まっていないか確認する。
 - ・もし通常の硬さであれば、ダメージがあっても無くてもラバーシールを確認する
(グリースの中の不純物がラバーシールに損傷を与えている可能性がある為)

2. ホンプが動かない時
 - ・圧力が基準に達しているか確認する。
 - ・グリース中に不純物がないか確認する。
 - ・ポンプ内のバルブピストンを確認する。
 - ・エアー漏れがないか確認する。
 - ・グリースの硬さを確認する。(硬過ぎる場合は、少量のエンジンオイルを足す)
 - ・グリースが不足していないか確認する。

3. グリースの漏出
 - ・固定ナット／ネジがよく閉まっているか確認してください。

4. グリース圧出力の欠如
 - ・エアー圧力が正常か確かめる。
 - ・ガンノズル先端や内部に不純物がないか調べる。
(もし不純物があれば取り除き綺麗にして下さい)